

いよいよ田植えが始まりました。

今年の田植えは、冬期間の積雪量が少なかったことからほ場への湛水が遅れ、結果として田植え作業に取り掛かるのが若干遅れてしまいました。しかし、ゴールデンウィーク期間中は好天に恵まれたため、田植え作業ははかどり、帰省した家族と一緒に楽しそうに田植えをしている姿があちこちのほ場で見られました。



一部条件の悪いほ場では、田植え機を操作する人と機械を前から引っ張る人の3人がかりで作業していました。

大佐渡スカイラインが開通しました。

冬季期間中に閉鎖していた大佐渡スカイラインが、平年より早めの4月中旬に開通しました。道路の脇にはカタクリの花が咲きほこり、春の訪れを堪能しようと訪れた方々が、その姿に見とれていました。



雪が残る
金北山

山一面に咲く
カタクリ↓



田植え交流会を行いました！

5月10日、島外の消費者親子41名が来島し、田植え交流会を行いました。田植え後には、佐渡の伝統芸能の鬼太鼓も見ていただきました。

お昼には、ヌカ釜で炊いたご飯とトビウオのすりみの味噌汁、山菜(竹の子やタラの芽)の天ぷらや煮しめといった佐渡の郷土料理を食べていただきました。参加者からは「ヌカ釜で炊いたご飯は炊飯器のよりもふっくらして美味しいね」と言って、あっという間に無くなるほど大好評でした。



ヌカ釜は20分ほどでご飯が炊けます。

トキ情報について

①トキふれあいプラザでヒナが誕生しました。

4月17日に、トキを間近で見られる施設「ふれあいプラザ」で抱卵中だったペアから、ひな1羽が生まれました。同施設では初のヒナ誕生となり、親がエサを与えている姿を間近で見られます。

②放鳥トキ3世が誕生しました。

2012年に野生下で生まれたトキ(放鳥トキ2世)と2013年に放鳥されたトキとのペアから、待望のヒナが誕生しました。つまり、「放鳥トキ3世」の誕生ということになるのです！

今後も野生下で誕生したトキが毎年順調に子孫を残すこととなれば、トキの野生定着への大きな前進となります。

5月19日現在、今春、自然界で生まれたヒナは23羽となっています。

ぼくの成長を、トキ「ふれあいプラザ」に見に来てね。

